

・WHO の黄熱ワクチン推奨国・要求国リストが改訂

WHO のホームページに掲載されている黄熱ワクチン推奨国・要求国リストが 11 月に改訂されました。

<http://www.who.int/ith/ith-country-list.pdf>

主な改訂箇所としては、今年前半のブラジルでの黄熱流行を受けて、ワクチン推奨地域が南部のサンパウロやリオ・デジャネイロなどに拡大している点があります。また、コロンビア、パナマが流行国からの入国者に対して、黄熱ワクチンの接種を要求することになりました。

・全世界の最新マラリア流行状況

WHO は 11 月に World Malaria Report 2018 を発表しました (WHO 2018-11-19)。2017 年は全世界のマラリア患者数が 2 億 1,900 万人にのぼっており、このうち 92% はアフリカでの発生でした。この数は 2010 年に比べて 2,000 万人減少していますが、2015 年以降はやや増加傾向にあります。マラリアによる死亡者数は 2017 年が 43 万人で、2010 年の 60 万人に比べ顕著な減少がみられました。

・サウジアラビアでの MERS 患者発生

サウジアラビアでは今年の 9 月中旬から 10 月末までに、中東呼吸器症候群 (MERS) の患者が 12 人発生しました (WHO Disease outbreak news 2018-11-1,11-20)。患者の発生地域は首都リヤドが 6 人と最も多く、感染経路はラクダとの接触が 4 人、感染者との接触が 4 人でした。2012 年に MERS の流行が確認されてから、全世界での累積患者数は 2,266 人になり、このうち 804 人が死亡しています。

・コンゴ民主共和国のエボラ熱流行

コンゴ民主共和国の北東部で発生しているエボラ熱の流行は 11 月も続いており、累積患者数は 386 人 (疑いを含む) になりました (WHO Disease outbreak news 2018-11-22)。このうち 219 人が死亡してい

ます。WHO はワクチン接種などで流行対策を行っていますが、11 月に入ってから患者数は 96 人と大きな変化はありません。ウガンダ国境付近の新たな地域でも患者が確認されました(WHO Disease outbreak news 2018-11-15)。今回の流行は治安状況が悪い地域で発生しており、WHO などによる対策を阻む大きな要因になっています。

・イギリス人旅行者が狂犬病で死亡

イギリス人旅行者がモロッコ滞在中にネコに噛まれ、帰国後、狂犬病を発病し、死亡しました(英国 NaTHNac 2018-11-12)。イギリスでは海外で感染した狂犬病患者が 2000 年～2017 年に 5 人発生しています。狂犬病はイヌからの感染が 90%以上を占めますが、ネコやサルなど哺乳動物全般にも感染リスクがあります。